

川崎区区民会議(全体会議)が開催されました

第2回(7月23日)、第3回(9月26日)区民会議(全体会議)が、川崎区役所会議室にて、開催されました。全体会議では、専門部会からの審議状況報告(P2、3参照)と意見交換及び区民会議フォーラムの進め方について検討しました。

主な意見



外国人市民を対象とした防災訓練が必要だと思う。外国人市民は、避難の方法や避難場所を知らない人が多い。また、防災訓練を開催していることさえ知らない人が多い。



すこやか・共に生きる部会の審議で、子どもたちが生き抜く力をつける方策がみつけれれば良い。



川崎区では、経済的理由から塾などへ行けない子どもが多く、そのような子どもからの学習相談が多い。塾などへは行けないが勉強したい子どもは多いと思う。



普段から学校やマンションと連携し、特に津波が起きた時は建物の屋上等に避難できるようにする必要がある。



子どもが生き抜く力をつけるためには、いろいろな世代の人と関わりを持つことが必要だと思う。

子どもが育つ環境をつくるためには、福祉と教育の両方が関わる必要がある。縦割りではない審議が必要である。

子どもたちに生命の尊さ、心の豊かさをどう伝えるかが大事だと思う。それらを親や地域の人から、どう伝えるかを検討する必要がある。

外国人市民や最近川崎区に住み始めた人は、町内会に入る人が少ない。このような人へどのようにして必要な情報を伝えるかを審議する必要がある。



川崎区区民会議

事務局 川崎区役所企画課 〒210-8570 川崎区東田町8番地
電話 044(201)3267 FAX 044(201)3209

区民会議の活動についての情報は、区民会議だよりや市政だより川崎区版のほか、区ホームページ内にある「川崎区区民会議のページ」でもご覧になれます。「川崎区区民会議のページ」では過去の会議の要点がまとめられているほか、議事録や各期の(中間)報告書、会議の開催予定なども掲載しています。

川崎区区民会議ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/61/61kawasaku/kuminkaigi/index.html>

川崎区区民会議だより

川崎区役所企画課

川崎区区民会議フォーラムを開催します!

区民会議の審議内容などを紹介し、区民のみなさんから意見を出していただく場として「区民会議フォーラム～みんなの力で暮らしやすいまちへ～」を開催します。

今年度の区民会議フォーラムは、区制40周年記念事業歴史文化と花のまちフェスティバルと同時開催いたします。

日時/平成24年1月24日(土) 15時15分～15時45分

※歴史文化と花のまちフェスティバル 12時45分開演(12時開場)

会場/サンピアンかわさき

内容 ◎ ホール：区民会議委員が直接、これまでの主な取組や現在の審議内容などを紹介します

● これまでの主な取組

- ・ 高齢者ウォーキングガイドブックの作成
- ・ カラーリングを活用した世代間が交流する場の拡充
- ・ 区の花・区の木の設定・効果的な活用



● 第4期区民会議審議内容

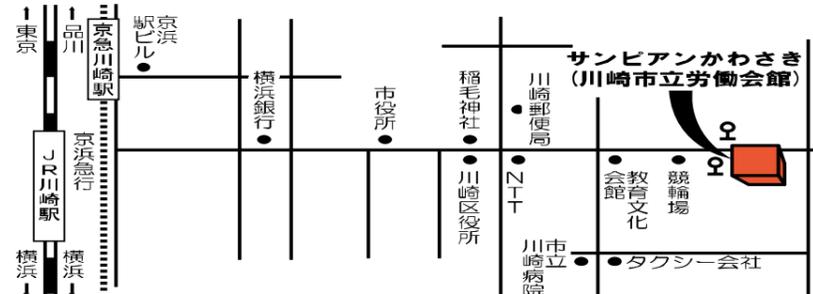
- ・ みんなのまちづくり部会
地域で身近な防災力
コミュニティバス導入の促進
- ・ すこやか共に生きる部会
地域における健康の推進
子どもを地域で支える、子どもの生きる力
外国人市民も住みやすいまちづくり

※2つの専門部会の審議内容は、2、3面をご覧ください。

◎ 展示会場：区民会議の活動の様子を紹介します

区民会議の審議内容等をまとめたポスターを展示し、みなさまのご意見をお伺いします。

＜サンピアンかわさきアクセスマップ＞



○徒歩：JR川崎駅・京浜急行川崎駅から約15分
○交通(バス)：JR川崎駅・京浜急行川崎駅下車
川崎駅東口バス乗り場より、川崎市営バスもしくは臨港バス乗車
市営埠頭行・水江町行・塩浜行など
「労働会館前」下車 所要時間5～10分 バス停より徒歩すぐ
*なお、急行および特急バスは停まりませんので、ご注意ください。



専門部会名と審議テーマが決定しました

『みんなのまちづくり部会』

◎専門部会名

「まちづくり」という言葉は、防災、地域交通環境、自然環境や文化・観光の振興など、さまざまな分野について、効果的に審議できることから選びました。また、「みんな」という言葉は、地域や区民のみなさんでまちづくりに取り組むという考えから選びました。これらの点を踏まえ、「みんなのまちづくり部会」に決定しました。

◎審議テーマ

●地域で身近な防災力（歴史、環境から学ぶ）

選定理由：災害時の安全確保のため、川崎区の歴史や環境も踏まえ防災を考える必要がある。

●コミュニティバス導入の促進（観光と福祉の向上）

選定理由：誰もが区内を安全に安心して移動できるようにするため、福祉や観光の視点を入れたコミュニティバスの導入について検討する必要がある。



審議テーマ検討にあたって、区民会議委員から出された主な意見

○臨海部の災害への対策を知る必要がある

・臨海工業地帯がある川崎区は、区民にとっても心配なことが多いと思う。万が一震災が起きた時、どういう対策を考えているのか調査し、審議を深めていきたい。

○誰でもすぐに現在位置と避難場所がわかる仕組みが必要である。

・町内会の掲示板に地図を貼り、現在位置や避難ルートを示すなど、災害時にすぐに避難できる工夫が必要である。

○防災に関する状況を区民に広く知ってもらう必要がある。

・区民が安心して暮らしていく上で、防災に関する情報を知ってもらうことが大切である。例えば、東扇島が防災拠点になっていること等。

○コミュニティバスについては、福祉や観光の観点をを入れて検討する必要がある。

・コミュニティバス導入については、高齢者が病院へ行きやすくすることや区内の名所を廻れるなど、福祉や観光の視点を入れる必要がある。

○学校や地域との連携を強くする必要がある

・学校への避難を考えた場合、夜間発災時の対応、地域との連携の仕組みなど解決すべき課題がある。



【今後の審議方針】

<地域で身近な防災力>

・臨海部の災害対策に関わる情報収集のため、東扇島の防災拠点施設の視察及び臨海部工業地帯の状況を調査する。

<コミュニティバス導入の促進>

・第3期区民会議が行った「コミュニティバス」に関するアンケートの集計結果を基に、調査審議を進めていく。

『すこやか・共に生きる部会』

◎専門部会名

「すこやか」という言葉は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が健康に暮らせるまちづくりを目指して選びました。また、「共に生きる」という言葉は、子どもと、高齢者と、外国人市民と共に生きるという意味であり、現在、都市部では希薄になっている世代間交流を含んでいます。これらの点を踏まえ「すこやか・共に生きる部会」に決定しました。

◎審議テーマ

●地域における健康の推進

選定理由：区民の健康増進のため、予防接種、住民健診等の受診率の向上について考える必要がある。

●子どもを地域で支える、子どもの生きる力

選定理由：子育てや子どもが育つ環境づくりのため、子育て支援、地域での子育ての場づくり・子どもの生きる力をどう育てていくか考える必要がある。

●外国人市民も住みやすいまちづくり

選定理由：外国人市民も住みやすいまちとするため、外国人市民への十分な情報伝達について考える必要がある。



審議テーマ検討にあたって、区民会議委員から出された主な意見

○子どもが高学年になるほど予防接種の受診率が下がる原因を把握する必要がある

・子どもが高学年になるほど生活面で忙しくなり、都合が合わないなどの理由で予防接種の受診率が下がるのではないかと。

○外国人市民が多く集まるところで情報提供を行ったらどうか

・外国人市民に的確な情報を伝えるために、まず外国人市民が多く集まるところは、どのような場があるか知る必要がある。

○子どもの大人と関わる機会が必要である

・子どもの生きる力をつけるきっかけとして、子どもが地域の大人とも関わる機会を持ったほうが良いと思う。

○区内の施設で世代間交流プログラムを実施する

・こども文化センター、いこいの家、子育て支援センター等のような施設で世代間交流のためのプログラムを実施することが良いと思う。まずはモデル地区をつくってやってみることが良いと思う。



【今後の審議方針】

<地域における健康の推進>

・子どもが高学年になるほど予防接種の受診率が下がる要因について、調査方法の検討を進める。

<子どもを地域で支える、子どもの生きる力>

・他都市で取り組んでいるひきこもり対策等の先進事例を調査・分析し審議を進める。

<外国人市民も住みやすいまちづくり>

・外国人市民への健康診断や予防接種に関する課題を調査していく。